

## 編集後記

2年間の準備の末、特定領域研究「古典学の再構築」を開始することになりました。この間みなさまのひとかたならぬご尽力にたいし、厚くお礼を申し上げます。

この計画の特徴は、諸古典学の研究交流を最大限に実現する点にあり、このための方策をこれから考えたいと思っています。

現在、先ず企画しているのは、『講座古典学』の刊行、「研究集会」や「国際シンポジウム」の開催です。

また同時に、研究者間の情報流通をより活発に、敏速に行うために本誌を活用し、本誌を共同研究の一手段としたいと考えています。

この第1号は、公募研究への応募者に対する案内を兼ね、すべての「研究項目」、主要な「研究分野」を紹介しました。優秀な研究の応募を期待しています。また班員の方々は、共同研究作業の一環として熟読いただき、提言、質問、批判等をお寄せ下さいますよう。

なお、本特定領域のロゴは北斗七星とすることになりました。古来から諸民族に親しまれて来た、この北辰を指し示す星座は、「古典学の再構築」が7項目を研究する7班から構成されていることから標章とされました。

互いに横の連絡を密にしつつ、研究者全員がその力を十二分に発揮していただきたいと願っています。各位のご協力を!

1998年10月1日

中谷英明

1998 - 2002



古典学の再構築